

ではありません。

り始めました。でも、それはいいことばかり
と三人のまわりでは不思議なことが起
に、ほこらをかくし、願い事をしました。す
捨てられたほこらを見つめました。秘密基地

小学5年生のおさななじみ三人は、ある日、
☆☆☆☆
借成社
富安 陽子〃作

『ほこらの神さま』



トリーが友達になつたのは…。
(シリーズあり)

ふしぎなできごとが起こりました。そして、
なりました。グリーン・ノウではつきつきと
もイギリスのグリーン・ノウで過ごすこと

7歳のトリーは、冬休みにおばあさんの住
☆☆☆☆
評論社

L・M・ポストン〃作 亀井 俊介〃訳

グリーン・ノウ物語 1

『グリーン・ノウの子どもたち』

『ぼくらのサイターの夏』
笹生 陽子〃作
講談社
☆☆☆☆
ぼくは小学校最後の夏休みに、ちよつ
と気に入らないあいつとプールそうじ
をさせられることに。



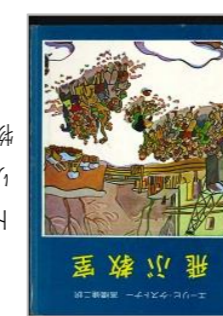
『グッドジョブガールズ』
草野 たき〃著
ポプラ社
☆☆☆☆
「悪友」の3人が小学校卒業の思い出づくり
にチアダンスにちょうせんするのですが…。



『わたしの苦手なあの子』

朝比奈 蓉子〃作
ポプラ社
☆☆☆☆

転校生のリサはツンとすまして、だれ
とも仲良くなれない。そんなリサの秘
密を知ってしまったミヒロは、リサと
仲良くなりたいと思うのに…。



5年生の国語の教科書でしようかい
【豊岡市推薦図書】

トイの寄宿学校で生活する少年たちがく
り広げる涙と笑いがつまったクリスマスの
物語。

☆☆☆☆
岩波書店
クストナー〃作 高橋 健二〃訳

『飛ぶ教室』

の子の方で…。

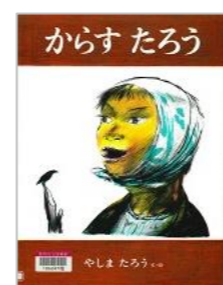
る。ケイタはそう思っていた。しかし、ユウキと名乗ったのは女
た。もしも転校生の名前がユウキならおれはきっと友だちにな
なったケイタのクラスに男女ふたりの転校生が同時にやってき

「ユウキ」だった。春休みが終わわり、六年生に
だちになった転校生の名前は、なぜかいつも
小学校に入学して以来、ケイタの前に現れ、友

伊藤 遊〃作
福喜館書店
☆☆☆☆

『ユウキ』

『からす たろう』
八島 太郎〃作
借成社
☆☆☆☆
だれにも相手にされず、ひとりぼっちだった
“ちび”。けれど、6年生の時、担任の磯部先
生は、野ぶどうや山いものありかや花の育て
方にくわしいことなど、“ちび”の才能をたく
さん見つけてくれます。



『ギルガメシュ王ものがたり』
『ギルガメシュ王のたたかい』
『ギルガメシュ王さいごの旅』
ルドミラ・ゼーマン〃作
岩波書店
☆☆☆☆



『ねずみとくじら』
ウィリアム・スタイグ〃作
評論社
☆☆☆☆



の物語。
をくりひろげ、トムが成長していくドキドキワクワクいっぱい
こやさかし、時にはきけんなことも…。さまざまなぼうけん
ともにぼうけんに出かけます。海賊ごつ
生活をおくるハックルベリ・フィンと
ム・ソーヤーはわんぱくな少年。自由な
ミシッピ川の近くの小さな村に住むト

☆☆☆☆
岩波書店
マーク・トウェイン〃作 石井 桃子〃訳

『トム・ソーヤーの冒険』

(シリーズあり)

6年生国語の教科書でしようかい
ガソバたちはどう立ち向かっていくのでしょうか？
た。海をこえたどり着いた先で待ち受けるイタチのこうげきに
におそわれていることを知り、仲間と助けに行くことにしまし

集まり」で出会ったネスミのすむ島がイタチ
町にすむネスミのガソバは、「船乗りネスミの
☆☆☆☆
岩波書店
斎藤 惇夫〃作

『冒険者たち』 ガソバと十五ひきの仲間
☆☆☆☆
岩波書店

『冒険者たち』

～テーマ別ブックリスト～
友だちっていいね
【5・6年生】

『ぼくらの七日間戦争』
「ぼくら」シリーズ
宗田 理〃作
ポプラ社
☆☆☆☆
(シリーズあり)



『赤毛のアン』
モンゴメリ〃著 村岡 花子〃訳
ポプラ社
☆☆☆☆
(シリーズあり)



豊岡市立図書館

ちたぼうけん物語。
ほら穴という閉ざされた世界でくり広げられる、スリルに満
探検することになります。

この草原でほら穴を発見し、秘密クラブの友人4人と一緒に
じの家に預けられている少年ジョンは、ワラ
夏休みが終わりに近づいたある日、田舎のお
☆☆☆☆
岩波書店

『地下の洞穴の冒険』

【豊岡市推薦図書】

トムとハチの時間の流れが違うことに、トムは次第に気
れる庭を見つけ、そこで少女ハチと親しくなる。しかし、
った。興味をひかれて起き出したトムは、真夜中にだけ現
古い大時計が時を告げたが、時計は12回ではなく13回鳴
ねむれずに過ぎて過している、12時になり、アパートにある
退くつな日々を過ごしていたトム。ある夜、

親せきのアパートに預けられ、友達もできず
☆☆☆☆
岩波書店

『トムは真夜中の庭で』
フリバ・ピアス〃作 高杉 一郎〃訳



『運命の騎士』
ローズマリ・サトクリフ〃作
猪熊 葉子〃訳
岩波書店
☆☆☆☆
みなしごのランダルは、城主の馬
の鼻先にイチジクを落としてむ
ち打ちになるところを楽人エル
ルアンに助けられ、彼の友人である老騎士エベラ
ードに引き取られます。エベラードは、孫のデー
ビスと暮らしていました。ランダルとデービスは
次第に打ちとけ、深い友情をはぐくんでいきま
す。そして、エベラードに仕えながら騎士の修業
を積み、成長していきます。

中世イギリスの当時の生活や自然についてもてい
ねいにえがかれています。

よんだほんの☆をぬろう。
なんこ☆がぬれたかな?
コ



2020.12 発行